

安心した教育行政と 災害時の行政110番



古賀源一郎
議員

古賀 学校給食基本計画の素案が出されたが、旧市町において特別な取り組みをしていたところは。

有明支所長 有明町においては、

学校給食制をとっており時間に合わせで作るなどメリット面が多かった。天草支所長 天草町では平成8年より天草陶石の食器を取り入れている。割れるというデメリットもあるが、温かみがあり食育の面からも非常にいい取り組みである。

古賀 地場産業である、天草陶磁器の食器を取り入れてみては。

市長 天草陶磁器は日本の伝統工芸でもあり食育の面からも真剣に取り組んでいきたい。

古賀 学校規模適正化推進計画に伴い統廃合を行っているが、適正規模にすることは、学力向上が目的であったはず、今後はその検証も行ってもらいたい。県の高校再編計画に伴い、高校までもが地域からなくなっている。通学困難もあり寮や下宿では家庭にかかる経済的負担が大きすぎる。以前より私が提案をしている旧本渡市に天草市立の寄宿舎（学生寮）をつく

り、学校に隔たりなく安価で受け入れることができる学生寮を今こそつくるべきだと思うがその考えはないのか。

市長 県の考え方もそのような方向になっている。個人的には議員の考え方に賛同する。そのような思いを持って考えていきたい。

【災害時の行政110番】

古賀 災害時が日祭日や時間外であった場合、地域振興局や市役所へ連絡しても現在対応ができていない。市は道路だけではなく消防や救急業務、学校・病院など多方面を管理しているのであれば災害時の連絡体制を構築すべきではないのか。またメールサービス等で市民への防災情報を発信してみているのか。

総務部長 警察や消防のように365日、24時間体制での職員の張りつけは困難だが、素早く対応する連絡体制は重要だと認識している。市民へのメールサービスは4月1日よりWebの駅で配信するようにしている。

情報の伝え方について



福嶋啓子
議員

福嶋 市のホームページを開いても探している情報が見つからないが、どこの部署が管理運営をしているのか。

企画部長 記事の掲載については、各課で記事を作成し、秘書課で確認をしている。機器やシステムの運営管理は情報政策課が行っている。

福嶋 天草Webの駅ができたのはいつか。どこが管理をしているのか。

企画部長 総務省のモデル事業として委託を受け、平成20年度から市民の利用を開始。情報政策課で管理運営をしている。

福嶋 天草Webの駅の年間経費はいくらだったのか。

企画部長 およそ1千万円。



福嶋 誰でも使えるのか。

企画部長 天草市在住、市勤務、市出身者、市に関係のある個人、

団体で、会員になることで利用が可能。

福嶋 住民に情報を伝えるためには、市政日より、市ホームページ、チラシ・口コミにいるような方法を組み合わせて複合的にしなければ、個人が行動を起こすところまでいかないと思う。

福嶋 メールアドレスを登録すれば、市の情報は配信してもらえるのか。

企画部長 学校・幼稚園・保育園・消防団・認知症サポーターなど、多くの団体で利用されている。25年度からは、市民への火災情報・災害時緊急情報を配信する。イベント・講演会などの情報配信は今後の課題とする。

福嶋 崎津教会の世界文化遺産登録の取り組みや・島民総おもてなし運動などは、いろいろなところで、映像による広報活動をしなければ、多くの住民の意識に届かないと思う。

雇用機会の拡大と 地元経済の浮揚について



菊池孝秀
議員

鎗光 市民生活の安心を守るためには、安定的な雇用が必要である。平成25年度施政方針「豊かな産業づくり」についての考えは。

市長 農業では、新規就農者や担い手の育成、確保を図る支援策を開始したい。林業は、補助制度による天草産材の利用促進を図る。水産業も、種苗放流や藻場造成事業を行い、資源の拡大と所得の向上に努めていく。各種産業の振興は、市民生活の基盤であり、雇用拡大と地元経済浮揚に不可欠である。安心して心豊かに暮らせる天草市を目指していく。

【オリーブの島づくり事業について】

鎗光 現在の状況は。

経済部長 平成25年3月まで、栽培者125人、面積37ha、本数17,400本、搾油機2台となっている。

鎗光 カメモシ対策について。

経済部長 防除は、オリーブの登録薬剤が無い。県と農薬登録拡大を図る。

鎗光 収穫量が多くなると、搾油

機不足が考えられるが。

経済部長 平成25年度に、天草工業高校と共同研究として、10K級の小型機の試作等を行う。

鎗光 オリーブのオーナー制度に取り組んでどうか。

経済部長 観光面の振興も考えられるので制度化を図っていきたい。

【五和小・中学校建設について】

鎗光 五和小・中学校建設の進捗状況について。

教育部長 校舎、体育館建設工事は、平成26年2月竣工を目標としている。

鎗光 下流域の排水対策は。

教育部長 河川の雑草木の伐採や泥の除去は早期の対策を計画している。

鎗光 河川の下流域の整備方針が見えない。護岸工事を進め、樋門に流れ込む水量を分散させる方法も検討すべきだ。流域には住宅や田畑もある。地元住民に配慮し、児童・生徒が安心して通える学校を建設していただきたい。

避難場所の確保・漁業の現状と課題・ 循環型社会の地域づくり・体罰問題



浜崎義昭
議員

【1 避難場所の確保について】

●現状の把握はできているのか。

●避難場所の確保は地域任せになっていないか。

●行政からの予算措置はどうなっているか。

●シミュレーションはおこなわれているのか。

【2 漁業の現状と課題について】

●天草の基幹産業（漁業）の置かれている現状を把握しているのか。

●出荷調整・蓄養できる施設づくりは可能か。

【3 循環型社会に対応した地域づくり】

●天草の将来を見据えたバイオマス構想を行うべき。

●地産地消の推進について。

【4 体罰問題について】

●県教委、市教委からの通知（体罰に関する実態調査）について。
●指導と体罰の判断基準は誰が行うのか。

●第三者委員会の設置が必要ではないか。

【再質問】

1 災害に強い漁業地域づくり事業がある。

2 漁業経営セーフティネット構築事業がある。水産物流通機能高度化対策事業がある。

3 循環型社会に対応した漁村づくり事業がある。天草は宝島として、この天草から出る産物はすべて宝に替えて行くという立場に立った構想を持って取り組みが必要と考えるべき。

4 「体罰」「懲戒」を区別 文科省が明示した。

【答弁】（所管部長）

1、2、3 いずれも関係者・関係団体と協議していく。

4 については、今後、文科省からの通知を受けて対応していく。

【要望】

いろんな事業がある担当課だけの対応を行わないよう要望。